

令和2年12月22日

立川市長 清水 庄平 殿

立川市議会厚生産業委員会

委員長 松本 あきひろ

高齢者のごみ出し支援に関する申入書

立川市におかれましては、日頃より高齢者福祉、ごみ行政について積極的な取り組みを進めていただいていることに敬意と感謝を申し上げます。

立川市議会では毎年「市民のみなさんと市議会議員との意見交換会」を開催し、市民の市政に関するご意見やニーズを伺っているところです。本年2月に開催した意見交換では、「ごみの分別・ごみの減量」を1つのテーマとし、大変多くの意見や課題が出されました。その中から、本委員会として「高齢者のごみ出し支援」を課題として取り上げ、意見聴取や事例調査などを行ってまいりました。

市においても高齢者のごみ出し支援については課題として認識いただいているものと承知しておりますので、以下の点についてご留意いただき拡充の検討を進めていただくよう申し入れます。

よろしくご配慮賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 対象者の要件について

多摩26市の中でも、立川市より対象要件が緩やかな市が多くあり、対象者（世帯）数は多摩26市でごみ出し支援事業を実施している15市中下から2番目であることから、要件の緩和を検討いただきたい。

2. 収集の対象について

立川市は現在収集の対象を集合住宅に限定しているが、戸建て住宅を対象としていな

いのは事業実施の 38 区市の中で 2 市のみであり、戸建て住宅を対象とすることを検討
いただきたい。

3. 事業予算について

多摩 26 市中 3 市が立川市より多くの予算を確保している一方、通常の収集業務に含
めて委託や契約をしている市もあり、あり方を含めた適正な予算確保を検討いただき
たい。

4. 具体的方法案について

日野市や稲城市では、シール添付などで識別できるボックスやバケツなど密閉容器を
設置し、ヘルパー等が収集日に関わらずごみ出しできる仕組みを取り入れており、検討
に際して参考としていただきたい。

5. 事業の周知について

高齢者サービスの手引き、障害者福祉のしおり等へ掲載するなど、一層の周知を図っ
ていただきたい。また、ケアプラン作成における支援事業の活用、ボランティア活用へ
結びつける工夫などについても検討いただきたい。

6. 関係部署間の連携について

高齢福祉課とごみ対策課が直接的に関係すると考えられ、支援事業拡充の検討に際し
ては連携して進めていただきたい。

小学校ごみ出しボランティア、ちょこっとボランティアも関連してくることから、教
育委員会、社会福祉協議会とも必要な連携を図っていただきたい。

7. 検討状況の報告について

ごみ出し支援事業拡充に向けた検討状況は、必要に応じて厚生産業委員会へ報告いた
いただきたい。

以上